

# 明治学院という船を率いて

1877(明治10)年、とうきょういつしんがっこう東京一致神学校が開設され、1879(明治12)年に東京築地居留地17番に新校舎が完成。いぶかかじのすけ井深梶之助は1880(明治13)年に、この東京一致神学校の第1期生として卒業します。

東京一致神学校はその後、1886(明治19)年に東京一致英和学校と英和予備校という2つの学校

と合併し、「明治学院」という名前にすることを決めました。

同年9月に、しんがくぶ井深は神学部の教授となり、1890(明治23)年8月から一年間の米国留学を経て、1891(明治24)年11月6日、井深は明治学院初代総理(現 学院長)のJ.C.ヘボンのあとを引継ぎ、

第二代総理に就任。就任式で、井深は「パンにあらで寧ろ修養(カルチュール)、忠君愛国にのみ偏せず

して上帝を敬畏するを以って知恵の本と為すべき由を開陳せられたり」(明治学院の教育の基本は、

物質主義でも国家主義でもなく、キリスト教を通して、研究と教育に励むことである)と宣言しました。

その後、1921(大正10)年に辞任するまで30年間の荒波を、井深は「明治学院」という船を率いて

乗り越えていったのです。

1906(明治39)年、井深は明治学院普通学部第1期卒業生である島崎藤村に校歌の作詞を依頼し、藤村も「明治学院は私を育てたところですから」と快諾したといいます。その歌詞は現在も歌い継

がれ、明治学院礼拝堂のそばに校歌碑が建っています。

POINT  
東京一致神学校



1877(明治10)年~1887(明治20)年まで東京築地にあった校舎写真、明治学院歴史資料館所蔵

POINT  
1890(明治23)年に撮影された集合写真  
写真の第一目にヘボンと井深が一緒に写っている



明治学院歴史資料館所蔵



井深梶之助名義の地券1888(明治21)年  
明治学院歴史資料館所蔵

武蔵国荏原郡白金村

1886(明治19)年に「明治学院」という名前が決まり、白金に校地を購入した。1887(明治20)年には校地を築地から白金に移した。「武蔵国荏原郡白金村」とは現在の東京都港区白金のこと。

## 明治学院正門今昔



1933(昭和8)年頃の明治学院正門



2024(令和6)年の明治学院正門



明治学院校歌碑



島崎藤村

POINT  
島崎藤村

島崎藤村(本名 島崎春樹)  
1872(明治5)年に長野県の馬籠に生まれる。1887(明治20)年に明治学院普通学部を卒業。卒業後は文学の道に進み、その後日本を代表する文豪となる。  
代表作に『破戒』、『夜明け前』、『春』や『桜の実の熟する時』など。  
『桜の実の熟する時』には、明治学院記念館が描かれている。

## アクティブラーニング

- ◆あなたの学校には、どのようなスクールモットー(校訓のことば)、大切にしている言葉がありますか。さらに、その言葉の中身や歴史について調べてみましょう。
- ◆自分のいる学校の卒業生で、社会や他の人のために力を尽くした人を調べて、発表しあいましょう。

## アクティブラーニングのための参考資料

- ・各学校の校史、年史
- ・各学校の卒業生の人物史 など